

4 神栖市水道ビジョン改訂業務委託

【特記仕様書】

1. 目的

神栖市は、平成 30 年 3 月に「神栖市水道ビジョン」に含めて経営の基本計画となる「経営戦略」を策定、令和 2 年度には、投資・財政計画（収支計画）など「経営戦略」部分について実績や将来予測を見直し、現在はこの計画に基づいて事業運営を行っている。

本業務では、神栖市水道事業を取巻く直近の状況を踏まえ、現行の「神栖市水道ビジョン」を改訂することを目的とする。

2. 業務内容

2-1. 設計協議

業務着手時、中間報告時等、業務の区切りにおいて、必要に応じ協議する。

2-2. 現状・将来見通しの把握と目標設定

現行ビジョンの策定の主旨や背景、国の通知、茨城県水道ビジョンや神栖市及び神栖市水道事業の他計画との位置付け（関係性）について把握する。

最新の各種資料を収集し、水道事業の沿革、施設配置、施設の運転状況、維持管理状況、経営環境、組織体制等の事業特性や地域特性を把握する。また、これまでの水道事業の取組みについて、関連する計画の進捗状況を整理し、取り組みの成果や効果を分析することで、今後の事業課題を明確（再確認及び新規課題の整理・抽出）にする。

将来の事業環境について、外部環境の変化（人口減少、自然災害など）及び内部環境の変化（施設の老朽化、資金の確保など）を踏まえ、将来像を認識・確認する。

さらに、新水道ビジョンに示した「持続」「安全」「強靱」の観点に留意しつつ、50 年、100 年先を見据えた地域の水道の基本理念及び理想像を示し、地域の実情を踏まえた施策に関する目標となっているかを確認し必要に応じて再設定を行う。

（1）水需要予測

給水人口及び給水量の実績、開発計画等の動向を踏まえ、水需要予測の見直しを行う。

（2）配水場の更新等整備計画の検討

現ビジョン及び耐震化の進捗状況を確認し、配水場等の構築物及び設備の更新等整備計画（年次スケジュール）を見直す。

（３）管路更新計画の検討

現ビジョンの老朽管更新・耐震化の進捗状況を確認し、老朽管路の更新及び管路耐震化の整備計画（年次スケジュール）を見直す。

（４）整備計画の作成

以上をとりまとめ、水道施設の整備計画を作成する。なお、整備計画は、経営戦略の投資計画に位置付ける内容とする。

２－３．推進する実現方策

神栖市水道事業において推進すべき方策を検討する。方策の推進にあたっては、「持続」「安全」「強靱」のそれぞれについて、課題解決のための基本的な取り組みとして、策定済みの「水道施設更新計画」や配水場の現状等を考慮した、水道事業における体制強化を図るため、その位置づけや、適切な活用による実施方針及び具体的な実現方策について再確認し、必要に応じて修正・追記する。

また、連携と挑戦の視点から、他事業体と広域連携や官民連携による民間的経営手法の導入、水道料金の改定等、経営基盤強化の取り組みについての方針も必要に応じて整理する。

２－４．検討の進め方とフォローアップ

策定した計画の見直し期間や進捗管理の方法について、PDCAサイクルが有効に機能することを踏まえて検討する。

２－５．とりまとめ

水道事業ビジョンとしてとりまとめる。なお、公表資料とすることを考慮して、一般の需要者にとっても分かりやすくなるようにとりまとめること。

３．成果品

- | | |
|---------------------------|----|
| ・神栖市水道事業ビジョン・経営戦略（A4版、製本） | ３部 |
| ・同上概要版 | ３部 |
| ・上記に関する電子データ（DVD等） | 一式 |

なお、水道事業ビジョン等の配布用印刷物は対象外とする。